

神崎市3大夏祭り

「城原川ハンギーまつり」

筑後川下流右岸農地防災事業所

「城原川ハンギーまつり」とは、農業や生活に欠かせない水の恵みに感謝しようと、およそ30年ほど前から市の職員や地元住民でつくる実行委員会が開催している、佐賀県神崎市の夏の恒例イベントです。イベントは神崎市を南北に貫いて流れる城原川(じょうばるがわ)にて開催され、ハンギーと呼ばれるタライに乗って、川幅26.5メートルを往復する速さを競い合う「ハンギー競漕」が目玉となっています。(ハンギー…地元の特産品の菱(ヒシ)の実を収穫する際に使用するタライ)

本稿では、8月3日(土)に開催された「第15回城原川ハンギーまつり」に、事業PRを兼ねて参加した様子をご紹介します。



祭りは、36度を超える猛暑の中、開会式で幕を開けました。その後の出漕式(デモンストレーション)には、オレンジ色のヘルメットを被った水着姿の当事業所長も参加しました。

会場全体に、炎天下での体調管理について注意喚起を行い、右岸事業をPRしていただいた後、華麗に水面へ消えていき、祭りのスタートを大いに盛り上げていただきました。



続いて、世代別・個人団体別による競技が始まりました。競技には、市の内外から合わせて約300人がエントリーしており、懸命に両手で水をかき分け対岸を目指していました。

当事業所からは、4人1組の『一般ハンギー競漕』に、若手チームと、ベテランチームの2チームが参加し、会場を盛り上げました。

結果を残すことは叶いませんでしたが、大会常連チームが多い中、2チーム共に上位でゴールするなど、奮闘しました。(ベテランチームは、予選一位通過の後、決勝へ進むなど大健闘でした。)



その後、決勝や表彰式などを経て、まつりは幕を閉じました。会場は、出店や地元スポーツチームの選手登場などもあり、一日を通して多くの人で賑わいました。競技に参加し、地域振興に貢献するとともに、事業PRも行うことができ、非常に充実した一日となりました(写真のとおり、会場の受付テント周辺には、事業概要等を記載したパネルも出展しました)。今後も、地域とのつながりを深めると共に、本事業の重要性を周知していきたいと思えます。



※ 個人戦
若手職員が個人競技「スピードマスター」にて爆走!



※ インタビュー
佐賀テレビにて、当日の様子が報道されています。当事業所職員へのインタビューもありました。
 <https://youtu.be/o8IeCZM7Vbw?si=c-iCdyRY8jMdvJ-R>